

に恵まれた

パワースポット
大歩危・小歩危



らも の大切さを実感

務農林支部 加藤 瞬さん

ツアーに初めて参加しま
方までのロングコースで
驚くほどの快晴で、吉野川
絶好のラフティング日和
ティングは団体スポーツな
協力して、激流に飲まれ
パドルをこぎました。
などのハプニングもあ
クリングな体験の中で、
掛け合い、助け合い、時
たりして、協力すること
力を学ぶことができました
会を楽しんだほか、みん
のイベントに参加するな
司を過ごせ、とてもいい思
た。3日間という短い時
日常から離れて楽しんだ
りするなど、とても貴重な
と思います。次回のイベン
ています。

だから私は 府職労



谷川 海さん
(造園職)

入庁して2ヶ月が過ぎま
したが、今の正直な気持ち
としては毎日が勉強の日々
と感じています。その勉強
で得た知識が仕事に活かせ
た時に、とてもやりがい
を感じます。今の職場はとて
も雰囲気良く大変ありが
たと思います。
私も初めは緊張と不安で
一杯でした。その中で、組

鳳土木事務所

あなたも仲間だ



後垣 彩名さん
(社会福祉職)

入庁して2ヶ月が経ちま
したが、職場の雰囲気もよ
く、スーパードライズする先
輩が丁寧に関わってくれて
いてありがたいです。仕事
は、まだ、なかなか思うよ
うにはいきませんが、ケー

中央子ども家庭センター

藤井寺保健所



西森 彩音さん 清水 愛さん 司馬 歩実さん
(保健師) (保健師) (保健師)

私たちは、まだ分からな
いことばかりで、忙しくて
も優しく教えてくださる先
輩方に助けられながら一生

懸命働いています。そのこ
とに「ありがたいと思ってい
ます」「分からないことを
一つ一つ教えてください」
「先輩方のおかげで日々楽
しく頑張れています。私も
先輩方のように丁寧に、ま
た自分らしく仕事ができ
よう日々精進したいです」
組合の詳しいことはよく
分かりませんが、職場の歓
迎ランチ集会に参加した際
に、先輩方の話を聞いて、
職場のつながりが広がる
ことは良いこと、職場を超
えた仲間が増えることに魅
れを感じて加入しました。

障がい者の社会
復帰をめざして
天王寺駅から市バスに
揺られて15分。上町大地
の南に位置し、住吉大社
や帝塚山古墳など歴史を
感じさせる街並みの一角
に府立障がい者自立セン
ターがあります。同じ敷
地内には府立大阪急性期
・総合医療センターもあ
ります。約40人の職員で
中途障がい者や精神障が
い(高次脳機能障がい)



津田さん
は、利用者の
支援方針をま
とめ、家族や
地域との連絡
を取り次ぐな
ど、多様な役
割を担うケー
スワーカー。
「グループで
仕事をすること
が多い中、
自分が見えて
いない視点が
日々の業務に奮闘する
姿が伝わってきました。
職場の悩みも
みんなで共有、
改善は組合の力で
「クローラーを早くつけ
てほしい」と言う辻本さ
んは「施設内でプログラ
ムを実施している利用者
の中には体温調整が苦手
な方もいるので」と利用
者を気遣います。鈴木さ
んは「会議ができる部屋
がほしい。会議をするこ
きは、利用者の多目的室

10万人が参加する
平和の取り組み
平和行進は「ノーモア・ヒロ
シマ!ノーモア・ナガサキ!」
「核兵器のない世界を」と核兵
器廃絶を訴えて、全国各地で
進をつなげ広島まで歩きます。
1958年にたった一人が歩き
始め、60年目となる今ではすべ
ての都道府県(8割を超える自
治体)を通過し、10万人が参加
する国内で最大規模の反核平和
運動です。
核兵器禁止条約の
批准を目指そう
昨年7月7日、国連で核兵器
を違法とする「核兵器禁止条
約」が採択され、人類は核兵器
廃絶に向け歴史的な一歩を踏み
出しました。しかし、日本政府
はこの条約を批准していま
せん。核兵器のない世界の現
に向けて、唯一の戦争被爆国と
して禁止条約を調印、批准を日
本政府に求める世論づくりが大切
です。8月の広島と長崎で開催
される原水爆禁止2018年世
界大会の成功にむけ、みなさん
も平和を願い一歩でも一緒に歩
きましょう!

平和 行進 6月30日から7月7日 大阪府内一円を歩きます!

2018年国民平和行進 大阪府内コースの日程

- 6月30日(土) 柏原市役所(大和川河川敷)→八尾市役所→若江岩田駅(東大阪市)→東大阪市役所
- 7月1日(日) 河内長野市役所→富田林市役所→羽曳野市役所→藤井寺市役所→松原市役所
- 7月2日(月) 泉佐野市役所→貝塚市役所→岸和田市役所→忠岡町役場→和泉市役所
- 7月3日(火) 和泉市役所→泉大津市役所→高石市役所→浜寺公園→石津太神社→堺市役所
- 7月4日(水) 住吉区役所→天王寺・あべのベルタ西側公園→大阪城・教育塔前→大阪地方裁判所前・公園→南森町→都島区役所→都島本通→赤川1→旭区役所・大宮南公園
- 7月5日(木) 守口市役所→門真市役所→友呂岐公園→寝屋川市役所→成田山不動尊→香里団地→枚方市役所
- 7月6日(金) 高槻市役所→総持寺団地→茨木市役所→摂津市役所→吹田市役所
- 7月7日(土) 豊中市役所→池田市役所→兵庫庫・川西市役所

快晴

ラフティング&パ
めぐりツアーin大



楽しみながら
協力すること

総務農

ラフティングツ...
した。朝から夕方...
あり、当日は驚く...
の水量も適量で絶...
でした。ラフティ...
ので、みんなで協...
ないように必死に...
ボートが転覆する...
りましたが、スリ...
仲間たちと声を掛...
にはふざけあった...
の楽しさ、大切さ...
た。夜は、交流会...
なで阿波踊りのイ...
ど、楽しい時間を...
い出になりました...
間でしたが、日常...
り、共有したりす...
経験ができたと思...
トを楽しみにして

「核戦争から子どもを守ろう！」 母親大会に参加しよう！



1954年3月、ビキニ環礁で
のアメリカの水爆実験によって、
マグロ漁船員の日本人が亡くなり
ました。広島、長崎につぐ三度目
の被爆に母親たちは怒り、平塚ら
いてうさんら5人は世界に向け
「原水爆禁止のための訴え」を国
際民主婦人連盟に送り、1955
年スイスのローザンヌで世界母親
大会の開催が決まりました。それ
に先立ち6月、第1回日本母親大
会が東京で開かれ、日本各地の炭
鉱や農村からも、1円募金など
送り出された2000人の母親が
集まりました。同年7月にスイス
で開かれた世界母親大会(参加68
ヶ国10600人、日本代表14人)
の熱い願いから始まった母親大
会はだれでも参加できます。

第63回 大阪母親大会
6月24日(日) 9時半~分科会(たかつガーデン)
13時半~全体会(クレオ大阪中央)
記念講演:石川康宏さん
(神戸女学院大学教授・日本平和委員会代表理事)

第64回 日本母親大会in高知
8月25日(土) 全体会 26日(日) 分科会
記念講演:渡辺 治さん(一橋大学名誉教授)

憲法を守り活かす社会に 組合員の言葉で綴る平和への思い



安倍内閣は、憲法改憲の動きを続けています。「戦争のできる国へ」このまま進んでしまっているのか大きな岐路に立っています。今回は、四條畷保健所の組合員さんの声を紹介します。

- 戦争は、「ちょっとした思い違い」の積み重ねの最大の悲劇だと感じます。どうすれば良いんだろう、みんなはどんなことを感じているの?わかってくれたら嬉しいな。そういった「ちょっとした心のつながり」を共有し、理解し違いを認めることから戦争は防げると思っています。組合のつながりで、この「ちょっとした心のつながり」を積み重ねて広げることで、戦争が防げたらと切に願っています。
- 私の母は、長崎県雲仙で農家の手伝いをしていて「きのこ雲」を見た話してくれました。父は戦争に行き爆発弾があたり片足は短く引きずって歩いていました。「戦争の後遺症だ」と私が20歳過ぎたとき話してくれました。やはり悔しくて、嫌なことだったのだと思います。「戦争はいかん」と酒を飲む度に話していましたが、本心が言えなかったのだと今はわかります。近所には白血病やがんで亡くなる人が多くいました。看護学校の時に初めて原爆の後遺症だと知りました。原爆投下後、親戚を長崎市内に探しに行った人が多くいて、原爆手帳を申請していたようです。私が就職した頃の保健所には被爆者手帳の申請相談に来所する人がいましたが、今では殆どありません。しかし、戦争は戦後100年以上まで後遺症を落とすといえます。絶対戦争はあかん!今我々は、戦争を直接知りませんが、それは「平和」だからこそです。しかし今、少しずつ逆行していると感じます。今行われている「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」(3000万署名)の運動を通して「平和を願い」「憲法をまもれ」の行動をしましょう!

医療の現場から 府民のいのちと健康を守る府立病院に ⑥

国際がんセンター支部 西田 雅彦



臨床工学技士のおしごと

私は、臨床工学技士として勤務して12年目を迎えます。臨床工学技士は約30年前に設立された医療系の国家資格のひとつで、「今日の医療に不可欠な医療機器のスペシャリスト」と呼ばれること

幅広い業務に走り回る日々
当院で私たちは、手術室でのロボット支援手術の準備、内視鏡室での医師の介助、心臓カテーテル室での検査・治療の補助、重症患者の状態改善のための血液浄化といった臨床業務から、院内各所で使われている医療機器を、故障やトラブルから未然に防ぐための保守点検、それらの

増員で当直業務の負担軽減を
当院では、昨年8月から臨床工学技士の当直業務が始まりました。昨年4月に入職した4名にも、わずか4ヶ月の短期間でローテーションに入り、総勢8名でスタート

りかごとたいちの 職場訪問

連載

こんなところにも組合員③



大阪府立障がい者自立センター(大阪市住吉区大領)
自立支援課 心理職 辻本千尋さん、安部 紫さん
ケースワーカー 津田聖子さん、鈴木健太郎さん

利用者への直接支援がやりがい
利用者への直接支援がやりがい
仕事帰りに、あべのハルカスに立ち寄ったり、少し寄り道するのが楽しみという辻本さんは採用3年目。ベテラン職員安部さんと2人で分担当して約70人の利用者に対し、心理教育や援助をしています。

休日には家族や友人と出かけるのが楽しみという安部さんは「直接支援に関わることでできない職場では、業務が点と点で終結していましたが、今は点から線へと長期的に利用者に関われるのがうれしい」と笑顔で語りま

利用者の多目的室を借りるためそのたびに退室してもらうのが申し訳ない」と悩みを話します。女性からは、職員用トイレを設けてほしいという要望も出されました。過去には組合の力で「トイレ用擬音装置」も設置されています。

4月から勤務体制の変更による夜勤が始まり、4人とも体調を崩しやすくなったといえます。チームで進める仕事なので休憩をしっかりと取り合い、お互いに注意しながら良い職場環境にしたいと語るみなさんから仕事に対する意欲と熱意が伝わってきました。

【聞き手】 茂内梨香子・越智太二